

子どもたちの「学ぶ権利」の保障を！

—長野北高校・柏原東高校の存続を求めます—

府教委は9月1日、府立長野北高校と府立柏原東高校を2019年度から募集停止するとの案を発表、11月の教育委員会会議で最終決定するとしました。これは、維新の会主導でつくられた「3年連続定員に満たなければ再編整備」の府立学校条例と、府教委が策定した「2018年度までに府立高校、大阪市立高校あわせて7校程度を募集停止」の再編整備計画を根拠としたものです。

しかし、子どもたちの「学ぶ権利」を保障するために存在する公立高校の「定員」はゆとりがあって当たり前。「定員に満たない」ことを理由に学校をつぶすなどの異常な対応は他県には見られません。また、大阪の高校は全国から突出して大規模で、学級定員も40人に据え置かれたままです。「少子化」をチャンスに、学校規模の縮小や少人数学級の実施など、教育条件の改善こそ行うべきです。さらに、学区が撤廃され偏差値による序列化がすすむ中で志願倍率の低い高校をつぶすことは、子どもたちを過酷な競争に追い込み、切り捨てることに他なりません。とりわけ、長野北高校、柏原東高校はともに府の南東部に位置し、廃校にすれば、近隣に通える学校がなくなる子どもたちが生じ、地域にとって重大問題です。

府教委は、府民の強い反対を押し切って、2016年度からの池田北高校と咲洲高校、2017年度からの西淀川高校、2018年度からの大正高校と、すでに4つの府立高校の廃校に向けた募集停止を強行しました。「学ぶ権利」を奪う高校つぶしをこれ以上続けることは許されません。

以上のことから、下記について強く要請します。

記

1. 長野北高校、柏原東高校の募集停止は行わず、両校を存続させること。
2. 「3年連続定員に満たない高校は再編整備の対象」としている府立学校条例を抜本的に見直し、高校つぶしは行わないこと。
3. 募集停止が実施された学校の教育条件を低下させず、生徒が卒業まで安心して高校生活を送れる学校環境を、府教委の責任で保障すること。

大阪府教育委員会
教育長 向井正博 様

2017年 月 日

氏名	住所

【大阪の高校を守る会】

事務局：大阪市天王寺区東高津町7-11-707 / ☎06-6768-2106